

「あなたの結論」を出してください

今の高校ではどのようになっていくかわかりませんが、私が高校生だった時は、一年は部活動に全員加入、二年からは任意加入でした。つまり、二年になったら部活動をやるかやらないかの選択ができました。

私は野球が大好きでしたし、部活動をやりながら勉強も頑張りたいと思っていましたので、三年の夏まで部活動を続けました。当時は、大学受験の勉強をするために、「部活動をやったとしても三年の春まで」というのが常識になっていましたが、私はチームメイトと共に、その常識を自分の判断で破りました。

「夏まで部活動やっていて大丈夫か？大学受験のこと、考えているか？」

担任はずいぶん心配してくださいました。多くの同級生が部活動を引退し、大学受験の勉強に必死に取り組んでいる中、私と野球部のチームメイトはグラウンドで白球を追っていたからです。他の部にも、私と同じ選択をした生徒がいました。彼らも私と同じことを考えていたのだと思います。

「部活をやめても、野球を忘れて勉強に取り組めるわけではない。むしろ、野球ができない生活では張り合いがない。一生に一度の高校時代、悔いの残らないようにしたい。」これが私の考えでした。

あれから四十二年が経った今でも後悔はありません。「三年の夏までやろう」と誓い合って頑張った仲間たちと、素敵な思い出を作ることができたと思っています。

今日の出発集会の最後に私が話したことは、来年度に向けての重要な変更点です。変更点と言っても、その判断は生徒自身に委ねられています。今の自分にとってどうすることが一番よいことなのかを、真剣に考えてください。仲間につられたり楽な方へ流されたりしないようにしてほしいと強く思います。冷静かつ真剣に考えて、「あなたの結論」を出してください。

「部活動への参加は強制しないという話があったけど、私はこれまで頑張って続けてきた部活動をやめる気なんて全くないわ。お母さん、それでいいよね。」

「一年間部活動をやってきたけど、僕はスイミングに少しでも多く取り組みたいから、部活動がある時にはすぐに下校して、泳ぎに行くよ。お父さん、どう思う？」

「硬式野球の練習は平日にないから、野球部に入って、仲間と走ることや基礎トレーニングをするよ。部に入る以上、練習を支えることもやりたいと思っている。野球を愛しているという点では、硬式も軟式もないからね。」

部活動への参加をどうするかは、まさに、主体的な選択です。自分で決めた以上、それに対して責任を取らなければなりません。

えっ、「誰が」だって？もちろん、あなたですよ！（三月十日 記）